

事業名	農村青少年組織育成事業費		調査番号	89
細事業名	農村青少年活動促進事業費	財務コード	064504	
担当部課室	農政部 農業技術課 農業革新支援スタッフ (内線) 5375			

事業の概要

実施期間	始期 S 2 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	若い農業者	全国農業青年交換大会等に参加し、情報交換を行うことで、県外の農業者とのネットワークを形成するとともに、先進的な技術の習得が図られている
結果、何に結びつけるのか	若い農業者の育成	
内容	事業内容 全国農業青年交換大会への参加 全国農業者会議への参加	

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
活動指標	交換大会等への参加回数	目標	2	2	2	2	2	2	
		実績(見込)	2	2	2	2	2	2	
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b	b
成果指標		目標							
		実績(見込)							
		達成率							
		達成区分							
決算(予算) 単位:千円		263	55	31	53	106	(92)	(138)	

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価
成果指標		
全国の農業青年が一堂に会し、その知識や技術を相互に交換することで、担い手としての自信と誇りが培われ、次代を担う本県の青年農業者の効果的な育成活動につながっている。		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input type="checkbox"/> 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	これからの県内農業を担う若手農業者が、積極的に県外農業者と情報交換し、ネットワークを作ることで、栽培方法や販売方法の改善はもとより、大消費地である首都圏に隣接しているという好立地を活かした観光農業の新たな展開が期待される。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(出席者から関係職員への内容等伝達手法について見直す余地がある)
その他	説明	会議内容の県庁内での情報共有について見直す必要がある。
見直しの必要性	有	県内指導農業者及び青年農業者や担当職員の意識・資質の向上に有益であるとともに、農村青少年活動について他県の先進事例や優良事例等の情報が収集できることから、参加した農業者が所属する団体の総会等で交換会の内容を発表するなど、参加者が得た知見を幅広く農村青少年や地域に広め、多くの人々の意識・資質向上ができる方法を検討する。

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	より多くの農村青少年の意識・資質向上につながるよう、交流大会にて収集した、農村青少年活動に関する他県の先進事例や優良事例等の情報を、参加した農村青少年が所属する団体主催の研修会や総会で伝達する。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。